

釧路ビアリーグ

アイスホッケー競技規則

2014年4月1日施行

2024年4月1日改訂

著作：釧路ビアリーグ審議委員会

2014年3月3日

目 次

はじめに

第1章 チーム、選手および用具

100条 選手の用具

110条 ユニフォーム

第2章 ゲームオフィシャルおよびレフェリーの任務

200条 オフィシャルの任命

210条 レフェリーの用具

220条 レフェリーの権限

230条 オフィシャルの仕事と役割

第3章 競技規則

300条 試合時間

302条 試合前試合後の挨拶

304条 ホーム&ビジター

306条 アイシング・ザ・パック

308条 ペナルティ時

312条 ゴーリー不在の場合の不戦勝

314条 ゲーム最少催行選手数

320条 選手ランクに基づくプレー制限

325条 デビジョン毎の特別競技規則

330条 レギュラーリーグとプレイオフ

350条 リーグ登録者

360条 リーグ参加資格剥奪

第4章 ペナルティ

400条 マイナーペナルティ

402条 ボディチェックング

404条 メジャーおよびミスコンダクトペナルティ

406条 レフェリー判断

408条 レフェリーへの暴言

410条 1試合の反則数による試合退場

はじめに

この釧路ビアリーグ特別ルールブックは2014年3月にカナダ Burnaby8rinks で行われている社会人リーグ ASHL (Adult Safe Hockey League) の規則を参考に編集された。このルールブックにおいて不都合が認められた場合は、釧路ビアリーグ審議委員会で審議を行い改訂する。

第1章 チーム、選手および用具

100 条 選手の用具

選手が着用する用具については IIHF ルールに基づき、改造していない物を使用すること。初心者登録者はフルフェイス着用推奨

110 条 ユニフォーム

(1) チームでユニフォームが揃っている場合はそれを使用。揃いのユニフォームが無い場合はリーグオフィスよりナンバー入りビブスを借りそれを着用する。ソックスは統一していなくても可。

(2) 選手を特定する背番号をレフェリーが判別できるユニフォームであれば可。

(3) 両チームのユニフォームの色が紛らわしい場合は、レフェリーの判断でオフィシャル席からみて右側のチーム (ビジター) チームがベストを着用する。

第2章 ゲームオフィシャルおよびレフェリーの任務

200 条 オフィシャルの任命

試合はレフェリーが2名、オフィシャル2名、スーパーバイザー1名で行う。

210 条 レフェリーの用具

レフェリーはリーグ指定のレフェリージャージを着用しなければならない。

220 条 レフェリーの権限

(1) ゴールジャッジ不在のため、全てのゴール・ノーゴールはレフェリー及びスーパーバイザーの判断に委ねる。

(2) ボディチェック、プレー中の衝突、ゴリーインターフェアランスのペナルティ基準、悪意ある行為、危険な行為、暴言暴動、その他リーグの規約・活動方針に反する行動の対処については、レフェリー及びスーパーバイザーの判断で決断する。従って上記については、試合中の議論は受け付けない。後日代表者会議および審議委員会におけるルール基準についての話し合いの中で議論される。ルール基準についての不満や異議、要望等については日時を設定し個別にオフィスにて行うことができる。

230 条 オフィシャルの仕事と役割

オフィシャルは2名、両チームの出場選手の確認、練習パックの管理、スコアの入力、シュート数のカウント、電光掲示板の操作、音響機材の操作等を行う。

第3章 競技規則

300 条 試合時間

1 試合 15 分アバウトランニングタイム×3 ペリオド、練習時間 3 分、各ペリオドインターバル 1 分で行う。各ペリオドでエンドは変えない。試合進行が長時間にわたりストップする場合は、3 ペリオドの残り時間及び練習時間、インターバルで調整する。ゴールおよびペナルティ時は電光掲示板入力の際に時計をストップさせる場合があるが入力後すぐに時計をスタートさせる。

302 条 試合前試合後

(1) 試合前は各チームの各選手が所定の場所に用意してあるメンバー表をチェックし、当日の個人ランク及び背番号の確認後署名を行うことで試合参加可となる。リスト提出後に遅れて試合に参加する選手はまずオフィシャルに当日ナンバーの報告と署名をしてから試合に参加する。

(2) 3 分間の練習後、速やかに練習パックを片付けすぐに試合開始となる。整列挨拶は行わない。試合終了後は両チーム 1 列に並び全員で握手を交わす。リンク貸し切

り時間の都合上レフェリーおよび各ベンチへの挨拶は行わない。

試合終了後の握手が終了次第、次の試合の練習開始となる

(3) 控え室を使用するチームは試合前オフィシャル席に鍵を取りに来る。試合後ゴミを片付けた後、鍵をオフィシャル席に戻す。控え室の使い方が悪いチームには今後控え室使用禁止などの処罰を与える。鍵を紛失した場合は弁償しなければならない。

304 条 ホーム&ビジター

ホーム及びビジターチームは釧路ビアリーグホームページの試合日程で確認する。

ホームチームのベンチはオフィシャル席から向かって左側、ビジターは右側のベンチを使用する。

306 条 アイシング・ザ・パック

アイシング・ザ・パックが成立しても両チーム自由に選手の入替えができる。

またハイブリッドアイシングは採用しない。

308 条 ペナルティ時

- (1) 基本的にペナルティを受けた選手にペナルティシュートを与えるが、3点差時のゴール権利の無い選手或いは反則された選手が特定できない場合などは反則時点で氷上にいた他の選手が代行する。ペナルティシュートが不成功だった場合は、通常通りペナルティを犯した選手が所定の時間の退場となる。成功であった場合は、ペナルティ退場はキャンセルされる。
- (2) ペナルティを犯した選手がペナルティボックスのドアの開け閉めを行う。ドアを確実に閉めきらずプレーに参加した場合はその選手にマイナーペナルティが科せられる。
- (3) 両チーム同時にペナルティが起こった際にはペナルティシュートは相殺される。一方のチームが同じタイミングで2度のペナルティを起こした際は相手チームに2度のシュートアウトの権利が発生する。両チームとも複数回のペナルティが同じタイミングで起こった際は、ペナルティ数を相殺し、相殺しきれなかった回数分、ペナルティを受けたチームがペナルティシュートを行う。

312 条 ゴーリー不在の場合の不戦勝

1-0 の不戦敗となる。GK 怪我による途中退場の場合、GK の代わりにプレイヤーを出場

させて続行か不戦敗かを選べる。

314 条 ゲーム最少催行選手数

(1) ゴーリー1名を含めて6名とする。試合人数が不足しそうな場合、試合前日までに依頼があればオフィスは臨時補充選手を探す努力をする。

(2) 各チームが用意した臨時補充選手は必要な場合所定の手続きと費用をオフィスに支払うことでプレー可能となる。臨時補充選手の試合における各ポイントやペナルティは記録には残らない。

320 条 選手ランクに基づくプレー制限

釧路ビアリーグ規約に定める各選手のランクにおいて、Aランクは1得点差の状況での次ゴール、Bランクは2得点差の状況での次ゴール、Cランクの選手のゴールについては試合が3得点差の状況での次ゴールは認められない(ノーゴールとなる)。Sランクのリードを奪うゴールはいかなる時でも認められない。また氷上で同時にプレーできるSランク選手は1名までとし、2名同時にプレーしていた場合は、ベンチマイナーペナルティが科せられる。

325 条 ディビジョン毎の特別競技規則

Premium ディビジョンはビギナーが安全に楽しくアイスホッケー競技に取り組めるように、ボディチェックの他にスラップショット及びスティックを腰の高さよりも上げる行為をマイナーペナルティとして禁止する。その他のディビジョンについても、審議委員会で参加者ランクを検討の上、特別ルールを施行する場合がある。

330 条 レギュラーリーグとプレイオフ

(1) レギュラーリーグ

勝敗決定方式

第3ピリオド終了時勝利チームは勝点3点、負けたチームは0点

第3ピリオド終了時同点の場合、両チーム勝ち点1点

【勝点】

45分(第3ピリオドまで) 勝ち	3点
45分(第3ピリオドまで) 引き分け	1点
45分(第3ピリオドまで) 負け	0点

レギュラーリーグ終了時、勝点と同点の場合の順位決定優先順位

1. 各チーム全試合の試合中のペナルティ数の下位
2. 当該チームの対戦成績
3. 各チーム全試合の得失点差

(2) プレイオフ

全チーム参加のトーナメント形式。

プレイオフはレギュラーリーグ 1 試合以上出場の正規登録選手のみ出場可、既にオフィスが個人ランクを確定している既存の登録者についてはその限りでは無い。

試合当日参加資格チェックのために選手の ID をチェックする場合がある。

試合は各ピリオドを 15 分ランニングタイム、計 45 分で戦う。ファイナルのみ試合終了 2 分前からストップタイムとなる。

試合終了時点で同点の場合、セミファイナルまではサドンビクトリー方式によるゲームウィニングショット、ファイナルなるにおいては 5 分間の V ゴール式延長戦を 3on3 で行い決着がつかない場合は、サドンビクトリー方式によるゲームウィニングショットを行う。ゲームウィニングショットの際は S ランク選手はシューターとして参加はできない。

3on3 の延長戦においてはインプレー中以外はチェンジ禁止。ゲームウィニングショットについては同じシューターが連続でチャレンジしても構わない。ゴールはホーム側を使用。

尚、リンク貸切の都合上延長戦を行わずすぐにゲームウィニングショットを行う場合もある。

350 条 リーグ登録者

- (1) リーグ登録者は所定の参加費用をオフィスで支払いヘルメットステッカーを受け取る。試合中、ステッカーをヘルメットに貼っていない選手はステッカーを再購入するまでプレーができない。紛失の場合ステッカー再発行料は 300 円がかかる。
- (2) 未登録選手がプレーしていることが判明した場合、当該選手は即刻退場。当該選手のゴールおよびその選手が関わったゴールの取消しおよび当該チームのその他の得点も 0 とし試合再開。もしも試合終了時に判明した場合も同様に対処する。ただし不正が行われた試合がプレイオフの場合、即刻不正を行ったチームの

敗戦となる。

360 条 リーグ参加資格剥奪

- (1) 当リーグの試合において、乱闘および競技以外の争い、暴言等が起こった場合には審議委員会で審議し、警告或いはリーグ参加資格剥奪もあり得る。
- (2) ペナルティの有無を問わず素行の悪い選手について、複数の対戦チームから指摘があった場合は、審査委員会で審議し、その指摘が正当であると認められた場合は注意・警告・資格剥奪もあり得る。
- (3) 出場停止処分になった当該選手の行為が悪質と判断された場合、最大 3 万円の罰金を科すことがある。当該選手は罰金を支払うまでは出場資格を有さない
- (4) 資格剥奪となった場合でもリーグ参加費用の返金はしない。また、資格剥奪となった選手は、罰金として 30 万円をオフィスに支払わなければならない。その際、本契約に関して訴訟を提起する場合、釧路地方裁判所、または釧路簡易裁判所を第一審の専属管轄裁判所とし、日本国法を準拠法とすることを合意する。

第 4 章 ペナルティ

400 条 マイナーペナルティ

ボディチェックを含むマイナーペナルティはランニングタイム 2 分間の退場となる。

402 条 ボディチェック

- (1) 相手に意図的に体の接触を行った場合はボディチェックのマイナーペナルティとなる。
- (2) 偶発的でも GK に接触した場合は GK インターフェアランス。
- (3) 不慮の衝突についても回避可能であったかどうかを判断の基準としつつ原則としてボディチェックのペナルティとして扱われる。出場選手は周りに気を配り自らが衝突を避ける努力をしなければならない

403 条 アンスポーツマンライクコンダクト

- (1) レフェリー或いはスーパーバイザーがスポーツマンとして相応しくないプレー・言動と判断した場合、ダブルマイナー、或いはゲームミスコンダクトペナルティ

をいずれかを科することができる。

404 条 メジャーおよびミスコンダクトペナルティ

メジャーおよびミスコンダクトペナルティについては即刻退場となる。代わりの選手がマイナーペナルティの場合は 2 分間、メジャーペナルティについては 5 分間退場となる。

406 条 レフェリー判断

IIHF ルールのペナルティ事項、及び釧路ビアリーグペナルティ事項以外であっても、レフェリーが危険なプレーと判断した場合はペナルティを科することができる。

408 条 レフェリーへの暴言

レフェリーへの暴言については、レフェリーの判断によりアンスポーツマンライクコンダクトとして、ダブルマイナー或いは即刻ゲームミスコンダクト退場のいずれかを科することができる。

410 条 1 試合の反則数による試合退場

1 選手による 1 試合における複数回のペナルティについては、悪質なケースである場合はレフェリー及びスーパーバイザーの判断により残り時間退場処分（ゲームミスコンダクト）にすることができる。